

令和8年度 第1回 萩丘小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年 5月11日（月）14時30分～16時00分
- 2 開催場所 萩丘小学校 会議室
- 3 出席議員 岡本 剛、大橋 邦久、阿部 時久、増崎 桂、門奈 正洋、鈴木 加吉、
柿下 正尋
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 嶋田 哲也（北部協働センター 所長）
- 6 学校 中村 竜久（校長）、中村 隆紀（教頭）、大村 直弘（主幹）、
加藤 竜男（CS担当教員）、鈴木 かおり（CSディレクター）
- 7 教育委員会 清水 悠（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 かおり
- 10 会長の選出及び副会長の指名
司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、増崎委員及び大橋委員から岡本委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された岡本委員から、大橋委員を副会長に指名する旨の報告があった。
- 11 議長選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、岡本会長から大橋委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 12 協議項目
 - (1) 学校運営の基本方針について確認
 - (2) いじめ防止等のための基本方針の確認
 - (3) 本校のコミュニティ・スクールの取り組みについて確認
 - (4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

13 報告

14 会議記録

委員総数 7 人のうち全員の出席があり、過半数に達しているため会議成立している旨の報告があった。

【協議項目】

(1) 学校運営の基本方針について確認

校長から別紙資料に基づきグランドデザイン、学校経営構想の説明があった。他者との折り合いをつけ、主体的に課題を試行錯誤、次の学びに生かす。自分の可能性を見つけ出す。「自己肯定感」「自己有用感」を高める。「みんながいい気持ちになることをしよう」プラスの発信を心掛ける。

○グランドデザインは、子どもたちにどう伝わっているか。運動会などの行事で体现しているのか。(柿下委員)

- ・めあて、目標を立て一つ一つ伝えている。特に力を発揮できるのは行事。(校長)
- ・昇降口に写真で分かりやすく掲示している。(教頭)

○グランドデザインは今の背景を上手くとらえている。情報がたくさんあるが上手に子どもにおろしていくのが大事。(大橋委員)

- ・焦点をしぼっていくことが大切。教育活動全般で大事。(校長)

○6 年間でどう影響を与えているのか。全てをおろすとパニックになってしまい伝わりにくい。一つテーマを決め上手に伝えていく。(阿部委員)

○くすのきの定例会では、みんな受容的。(門奈委員)

- ・グランドデザインは理想であるが、具体的にどう伝えていくか検討していく。(校長)
- ・教師をしていたが、目標を常に意識し日々授業で指導していく。積み重ねが大事。(大橋委員)

- ・発達段階において必要なことを伝え、定着しつつある。(校長)

(2) いじめ防止等のための基本方針について確認

CS 担当教員より別紙資料に基づきいじめ防止基本方針、特に未然防止と早期発見について説明が

あった。学級目標を掲げ振り返り、反省していく。いじめ被害者、加害者とも教員の関りが薄いことがわかった。相談しやすい環境、積極的に関り、些細な信号を見逃さないアンテナを立てる。年 3 回アンケート、聞き取り(全員対象)を実施。第 2 回協議会の時にアンケート結果が示せると思う。

○下校時、子供の気になる行動があったがどう対応するのが正解かわからない。(柿下委員)

- ・物事の前後の背景が大事になってくる。声をかけていただいただけでありがたい。(CS)

担当教員)

- ・地域の間人としては難しい。(柿下委員)
 - ・そういう目で見ただけのだけでありがたい。(CS担当教員)
- いじめについて3件相談があった。心の成長上あることだと思いが、関わる教員に認識のズレがあった。保護者同士、子ども同士、話をして解決した。聞き取り時、子どもが正しいことを伝えているとは限らない。言うことも変わる。保護者に伝える時、情報がずれていたことが問題。同じ人が情報を提供するのがいいのでは。(門奈委員)
- ・子ども同士突き合わせて、両保護者には同じ情報を伝えなければならないと理解した。(CS担当教員)
 - ・クラスが違ったのか。(大橋委員)
 - ・学年が違った。どうしてもトラブルは起きるが対応が大切。(門奈委員)
 - ・地域に門奈さんのように聞いてくれる環境があるのがありがたい。(CS担当教員)
 - ・教員に近寄ってくる子どもは心配ないが、高齢者も子どももかかわりを拒む人、接触が少ない子が心配。目配りが必要。(鈴木委員)

(3) コミュニティ・スクールの取り組みについての確認

増崎委員より別紙資料に基づき萩っ子サポーターズクラブの説明があった。

- 一般の人はコミュニティ・スクールと萩っ子サポーターズクラブがイコールになっている。活動的にはどうしたらいいか。(門奈委員)
- ・浸透させる決定打がない。試行錯誤、地道にやっているしかない。コーディネーター研修も考えている。市役所でも出前講座をやっているので必要なら説明させてもらう。(教育委員会)
- メンバーを集めるのは大変ではないか。(大橋委員)
- ・できる時にできる人ができることをモットーにやっているが活動量が多い印象を持っている人が多い。コーディネーターを育てたいと思うがなかなか難しい。不安を相談し一緒に学んでいける場になっていると思う。(増崎委員)
 - ・高台中健全育成会も工夫してやっていかなければ。(阿部委員)
 - ・持続可能な活動を。(大橋委員)
 - ・これからも活動が楽しいことを伝えていく。(増崎委員)

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭より資料に基づき報告があり、全員異議なくこれを承認した。

(5) 学校運営協議会今年度の目標決定

教頭より資料に基づき説明があった。目標を確認し決定。

- 夢はぐについて知りたい。助成の費用はどのように使うのか。(柿下委員)

・夢はぐは、学校の特色で助成ができる。運営協議会自体に費用はないため実働に制限がかかってしまう。そのため運営協議会ではどのように使うか意見をだしている。(教育委員会)

○協議会の内容を事前に知りたい。熟議したい気持ちはあるが、この場で知って協議は難しい。くすのきでの事前協議につなげたい。(門奈委員)

報告

○萩トープ看板の色塗りが授業中にできたらいいが、カリキュラム内で難しいならくすのきで協力します。(門奈委員)

・昨年まで5年生が担当していたが、カリキュラム内容が変わったため5年主任、特活主任に確認してみます。(教頭)

○朝ごはんサポート事業が立ち上がった。現状調査アンケートを作成中です。6月に第2回実行委員会が開催される予定です。(増崎委員)

○北部協働センターでは、子ども講座が1学期に3回あります。チラシを配布予定です。講座の相談も受け付けています。(嶋田所長)

司会から次回会議は、令和8年9月3日(木)14時30分から会議室で開催する旨の報告があった。